

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105107
法人名	医療法人 碩済会
事業所名	グループホーム 敬史館
所在地	鹿児島県鹿児島市本名町494番地 (電話) 099-284-1717
自己評価作成日	平成27年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年11月19日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①介護の質の向上を図る為に、全職員の外部研修参加を目指し、ホームでのフィードバック研修会の実施をしている。
- ②利用者様が安心・安全に生活していただく為に、毎月災害時想定避難訓練・誘導訓練消火訓練・通報訓練など年数回実施している。吉田分遣隊の訓練も行い防災意識を高めている。(スプリンクラー設置で、利用者様・ご家族様からの安心・安全も得ている)
- ③地域への参加・地域住民との交流としてホームでの夏祭りの実施・地域の敬老会や町内会の行事などへの参加を行い地域との交流に努めている。
- ④近隣施設との交流の一環として夏祭りへの参加及びお手伝い・協力病院での研修会の参加により近隣施設とは、密接な関係作りを行っている。
- ⑤重度化対策として、重度化になっても安心して入浴していただけるよう特殊浴槽機を設置している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームはホームの前に、母体医療機関や介護老人保健施設等があり、定期的な受診や緊急時の対応など医療連携体制が整っている。
- ・町内会に加入し、文化祭など地域行事に積極的に参加する一方、夏祭りなど事業所行事にも多くの地域の人々が参加するなど日常的に地域住民と交流している。
- ・災害対策として、定期的に避難訓練を実施し、吉田分遣隊からの訓練も受けており、家族の安心にも繋がっている。
- ・職員は勤務年数も長く離職者も少ない。管理者は職員を育てることに力を入れ、全職員の外部研修参加を目指し、職員の働く意欲を引き出している。職員も利用者が張り合いや喜びのある生活を過ごせるようにと、毎月のホーム便りに個々人のコメントを入れて家族にも思いを伝えるなど意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員採用時グループホームの運営理念の説明の実施。更に職員会議やミーティング等にて運営理念の再確認を行っている。毎朝、出勤者で法人理念・ホーム内理念を唱和し、意識付けと実践につなげている	法人理念をもとに職員全員で話し合い、ホーム独自の理念を作り上げ、スタッフルームや談話室に掲示している。毎朝申し送り時に唱和し、ミーティング等で確認し合い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入 町内行事への参加 (地域行事の敬老会など参加し回覧板配りも利用者様と行っている) ホームでの夏祭り開催にて地域の方の多くの参加を頂いた	町内会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りがある。ホームの夏まつりに地域住民の多数の参加がある。地区の文化祭には作品を出展したり、敬老会等にも参加している。散歩や買い物に出かけた時には挨拶や会話を楽しんでいる。託児所との交流やボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポート講座を実施し認知症高齢者の相談窓口のPRに勤めている。 運営推進会議 防災訓練 (協力・参加の呼びかけ) 交流の機会に努める		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族代表・地域包括・他グループホーム職員・地域ボランティアの方々をメンバーに入れ、様々な角度からの意見を取り入れサービス向上につなげている</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告を行い、それぞれの立場から意見交換をしている。意見を反映させ、ホームでの夏まつりを再開、また毎朝AEDの点検をして、具体的なサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターや社会福祉協議会の方々を運営推進会議のメンバーに入っただき情報交換・状況伝達を行い協力関係を築いている</p>	<p>市担当者とは、日頃から窓口に出向き利用者の相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、年1回介護相談員も受け入れている。生活保護の担当者とも連携が取れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置し毎月会議を開き、意見や身体拘束を行わないケアの取組みをミーティングにて全職員へ反映し実践につなげている</p>	<p>身体拘束委員会が中心になり、毎月事例を挙げて研修を行っている。失禁時等は言葉遣いも語尾を上げないことを心がけ、さりげない声かけをしている。気になる言葉使いはその場で注意し合っている。日中玄関の施錠はしていない。徘徊のある利用者については見守り、一緒に散歩するなど拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月会議で日々のケアを見直し、施設内研修の実施や年に数回の勉強会を開催し、意識を高め虐待の防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修会に参加し必要性について全職員への周知・意識浸透に努める		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者・ケアマネージャーを中心に口頭や文書において丁寧に説明を行い、理解・納得いただいた上で署名・捺印を頂いている。自由に見学や1日体験が出来る体制づくりである		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や意見箱の設置にて要望など自由に意見交換が出来るように努めている。 年1回介護相談員の訪問受け入れ 年2回の家族会の実施 (5月・12月予定)	利用者からは、日々の関わりの中で思いを聞いている。市相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・アンケートなどで意見を出してもらっている。家族の要望で職員の写真と名前を玄関に掲示したり、利用者の要望で脱衣所に移動式の物干し台を設置するなど日々のケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員ミーティングにて各委員会からの報告や代表者会議でも職員からの意見・提案を受けて反映されている。</p> <p>年2回個人面談を定期的実施し職員の意見の反映に努めている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、年2回の個人面談を行い、ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。提案により、重度化対策で特殊浴槽機の購入や脱衣場に利用者目線で高さが調整できる物干し台の設置など具体的な改善に活かされている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定時の休憩時間をもうけ気分転換出来るように努めている。</p> <p>人事考課の実施とフィードバック面接の実施。</p> <p>処遇改善交付金を受け賃金改善に努めている。</p> <p>(時間外・休日出勤については手当を支給している)</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間行事に基づき、施設内外研修に参加し研修報告を行い職員育成に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣施設とは定期的に交流の場を設け今後の、法改正に伴う事業運営について検討会の実施。協力病院での研修会の実施。近隣施設との協働で地域ケア交流会の実施。</p> <p>同地区の他事業所の運営推進会議に参加し情報・意見交換の機会作りに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前には本人へ面談へ出向き、不安や要望を聞き取り、ケアにあたる職員で情報を共有し、本人の安心確保や求めている事を理解する為の関係作りを心掛けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とどの様に処遇に反映していくか事前に検討している。面会時などに、ご本人の状態など報告する事でご家族の安心また、意見や要望を聞きだせる関係を築いていけるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に施設に来訪して頂き本人の意志・希望やご家族様の思いなどを確認して適切な入所の提案を実施し紹介していく（病院・老人保健施設など）		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	穏やかで安心して生活が出来る様に声かけ動機付けを行い、自律助長をうながしている。利用者1人1人の思いを大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との面会の機会作りのため行事など参加していただいたり利用者の様子など処遇についても随時報告しご家族との情報共有じてケアを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・友人・知人などが訪ねてこられた時はゆっくり過ごしてもらえるようお茶など提供し、関係がこれからも続くように支援していると共に誰でも施設に立ち寄れる雰囲気を作っている。	入居前の生活歴などを把握し関係が途切れないよう働きかけている。親戚や友人知人の訪問の際にはお茶を出したりしている。行きつけの買い物店にも気軽に通えるよう支援している。家族の協力で外出や美容院・法事・結婚式等に参列している。手紙や電話の取次ぎ等も行い、関係性が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	平屋で2ユニットある利点を活かしてお互いのユニットを行き来して利用者同士の係わり合いを作り、より多くの顔なじみの関係を築き支えあえるように支援に努めていると同時に両ユニット合同の食事会を園庭にて開催（BBQ・そうめん流しなど）		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転所にて契約終了後も見舞いや面会に行くなど、関係性を大切にし相談や支援に努める		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	若い頃の生活歴や職業を理解した上で、利用者様1人1人との会話の中や表情から思いを汲み取り希望や意向を実現出来る様に努めている。 (買物に行く・園庭での食事等)	入居時の面談で得た情報や日々の暮らしの中で表情や言動から個々の思いや意向を把握している。昔畑作業をしていた利用者にプランターを準備し思いに応じている。重度化に伴い把握が困難な場合は、利用者の視点に立って家族や職員で話し合い、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の会話や面談・センター方式を活用し情報を集め、過去の生活環境やこれまでのサービス利用の経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のケース記録を中心に申し送り・申し送りノートを活かし職員間での情報交換・共有し1人1人の現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心にミーティングやカンファレンスを行い、本人・家族・ケア職員・担当医師の意見・要望を反映した計画書の作成に努めている。 3ヶ月に1回のモニタリングの実施。	本人や家族の希望や思いを聞き主治医・職員の意見も踏まえて、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月から1年毎に変更している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月のケース記録や申し送りノート活用し職員間で情報共有を行い実践し本人の行動・職員の気づき・利用者様のじょうたいへんかを個別記記載し介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の希望を中心に訪問美容室の活用など、柔軟な支援サービスの多様化に取り組んでいる。ご本人・家族の希望に応じて訪問マッサージも利用可能		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の運営推進会議への参加 文化祭への作品出品・地域主催の活動への参加 (新大原地区敬老会・飯山地区運動会) 地域ボランティア主催「夢ふうせん」への見学等ここに就いて支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時や受診必要時は、ご家族様の希望を中心に、かかりつけ医との連携を図りながら適切な医療の提供(受診)になるよう支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の定期受診も行っている。専門医等の受診は家族同行となっているが、状況に応じて支援している。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療が受けられるよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝のバイタルチェックやケース記録・申し送り時著変者など訪問看護師へ報告・相談し助言を仰ぐなど適切な受診・看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当医の情報提供書や看護サマリー、ADL評価表等で情報共有を図り管理者・相談員が中心になり、病院関係者との関係作りに努めている。 入・退院時はご家族様と情報共有し支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族へは、契約時に重度化・終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。又カンファレンス時にも重度化・終末期についての話し合いを行っている。スタッフ間では内部・外部研修実施参加にて方針の共有に取り組んでいる。 (定期的な勉強会の実施)	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針や看取りに関する指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に従い、そのつど本人や家族と話し合い、主治医や看護師と連携して方向性を共有できるよう取り組んでいる。関連の研修会に参加している。看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会や緊急時マニュアル作成を行い対応方法を掲示し早期対応出来るように努めている。吉田分遣隊の協力を得て普通救命修了者10名		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年6回の防災訓練の規定に基づく夜間想定訓練や、自然災害想定訓練の実施など状況に応じた対応が出来るように努めている。吉田分遣隊へ年2回来訪して頂き防災意識の向上を図っている。</p>	<p>火災や地震・水害等を想定した、昼夜間想定避難・通報訓練を年6回実施している。その内2回は消防署の指導のもと実施している。骨折時の対応も訓練している。隣接する医療機関や周辺の施設との協力体制もできている。非常用としておかゆやレトルト食品・水・缶詰など2箇所所に備蓄している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや入浴、オムツ交換の際はドアを閉めることや、言葉掛け対応についても委員会を中心に毎月の評価実施している。後日ミーティング内にて全職員への周知を行い意識付けを行っている。トイレについては廊下往来者からの目線からは見えないように配慮している	全職員が人格の尊重とプライバシーについて委員会で研鑽をしている。またミーティング等で話し合い、職員の資質向上に取り組んでいる。言葉かけや対応に留意し、オムツ交換やトイレ誘導などプライドを損なわない対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉数が少ない方には、スタッフからの声掛けや会話の中から本人の思いや希望を引き出せるように努めている。利用者自らが決められる場面作りを実施出来る様に努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩やドライブ、歌やリハビリに行くなど、個人のペースや予定に応じて毎日の暮らしを支援している。日々の生活の流れはあるがその場の状況や利用者様本人の想いにて臨機応変に対応している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な訪問カットの利用。個人の好みを尊重し、利用者自身の意見に合わせカット出来るよう支援している。出来ない方は家族の協力を得て支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>栄養面に配慮しつつ利用者様からの希望を取り入れメニューを決めている。 病院の栄養士との連携・情報の共有 おやつ作りなど実施している。</p>	<p>旬の物で、地元の食材を使い、利用者の嗜好に配慮した献立を作成している。個々の力量に応じて買い物から盛り付け・後片付けの皿洗い・掃除まで職員と一緒に行動している。誕生日はロールケーキを作り祝っている。おやつもプリンや水ようかんなど一緒に作ったり、園庭でバーベキューやソーメン流しも楽しんでいる。希望で刺身も食べている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎月の体重測定を実施し、栄養状態の目安にしている。水分は一日の必要量を確保できるようにこまめに提供し、またお茶以外にも好みの物を提供出来るようにしている。水分摂取の厳しい方にはプリン・ゼリーなど提供し、栄養面では高カロリーゼリーの提供も行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>提携の歯科医院の協力を得ながら個々に応じた口腔ケア・肺炎予防に努めている。 毎食後（朝・昼・夕）の口腔ケアの実施。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンシートで個々のリズムを把握し、自立支援の実施・申し送り等で情報の共有を図っている。また個々に応じて協力病院内にて排泄動作訓練の実施を取り入れている。	排泄パターンや習慣を把握し、動作や表情などの行動を職員で共有して、声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。個々に応じて協力医療機関で下肢筋力訓練を取り入れている。夜間ポータブルトイレ利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分摂取を促すとともに体操や散歩などを一緒に行うなど予防に努めている。 必要に応じて担当医へ相談し対応する。 (下剤の服用)		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回ではあるが、体調や個々人の希望により実施支援につなげている。利用者様本人の意向を尊重している。 毎日、午前・午後入浴可能。	入浴は週3回であるが希望に応じて毎日入浴も対応している。基本は同性介助であるが利用者の身体能力に応じて支援している。一般浴と機械浴があり、身体状況によって機械浴で安全に入浴できるように配慮している。ゆず湯などで季節感を楽しむ工夫をしている。入浴を拒む利用者にも職員間で連携し、状況改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファやベンチで思い思いに休息が取れるよう、夜は気持ちよく休んで頂けるようにシーツや布団を干したり、温かい飲み物を提供するなど支援に努めている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当医や薬剤師から情報を得て薬の説明書はいつでも閲覧できるようにファイル管理し、服薬支援や症状の変化確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レク活動や掃除・食事作り・園芸薩摩郷句など嗜好や趣味を楽しんでもらい、洗濯干しやたたみなど個々の能力に応じてホームでの役割りや張り合い作りに努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブや買い物など希望に沿って外出出来るように支援している。また家族の協力を得て自宅へ一時帰宅するなど故郷訪問の実施も行っている。地域の文化祭・敬老会への参加。	日常的には、個々人の希望によって近隣の散歩や買い物に出かけている。計画を立てて地域行事への参加や花見・ソーメン流し・初詣等に出かけている。車椅子対応も行っている。家族の協力での外出や外泊・外食・墓参にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>出納帳にて管理し必要に応じて出金し本人の希望の物を購入出来る様に支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人希望時など家族に協力していただき電話での対応やコミュニケーションを図れるよう支援に努めている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>談話室には季節の物を飾り、月日・曜日がわかる手作りの日めくりカレンダーの設置 季節ごとの壁の掲示物を変え季節を感じてもらい居心地の良い空間を作るよう努力している</p>	<p>共用空間は換気や採光・温度・湿度に配慮し清潔である。食堂兼談話室は空気清浄機や加湿器がある。玄関やホールには、季節を大事にした飾りつけや利用者と職員が手作りした文化祭出展の作品や行事などの写真が飾ってある。大きな丸テーブルにソファもあり、ゆっくりと居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>施設敷地内にベンチを設置し、食堂（談話室）にはソファを置きそれぞれの利用者様が個人の意味にて思い思いにリラックスして過ごせるよう工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に馴染みの小物や写真などを飾り利用者1人1人がその人らしい観性のある空間作りを家族と相談しながら工夫している。</p>	<p>居室は電動ベットや整理ダンスが備え付けである。テレビや家具・位牌・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。洋服かけには季節の洋服や帽子などがかけられ自由に選んで出かけられるように家族や職員の工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレやお風呂場など、自立歩行できる方・車椅子使用の方の目線に合わせ案内を表示し分かりやすくご自分でも行動できるように支援している。食事のテーブルの位置も人間関係を考慮しながら決めている。居室にはご本人が自分の部屋だと分かるように名札を設置している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない